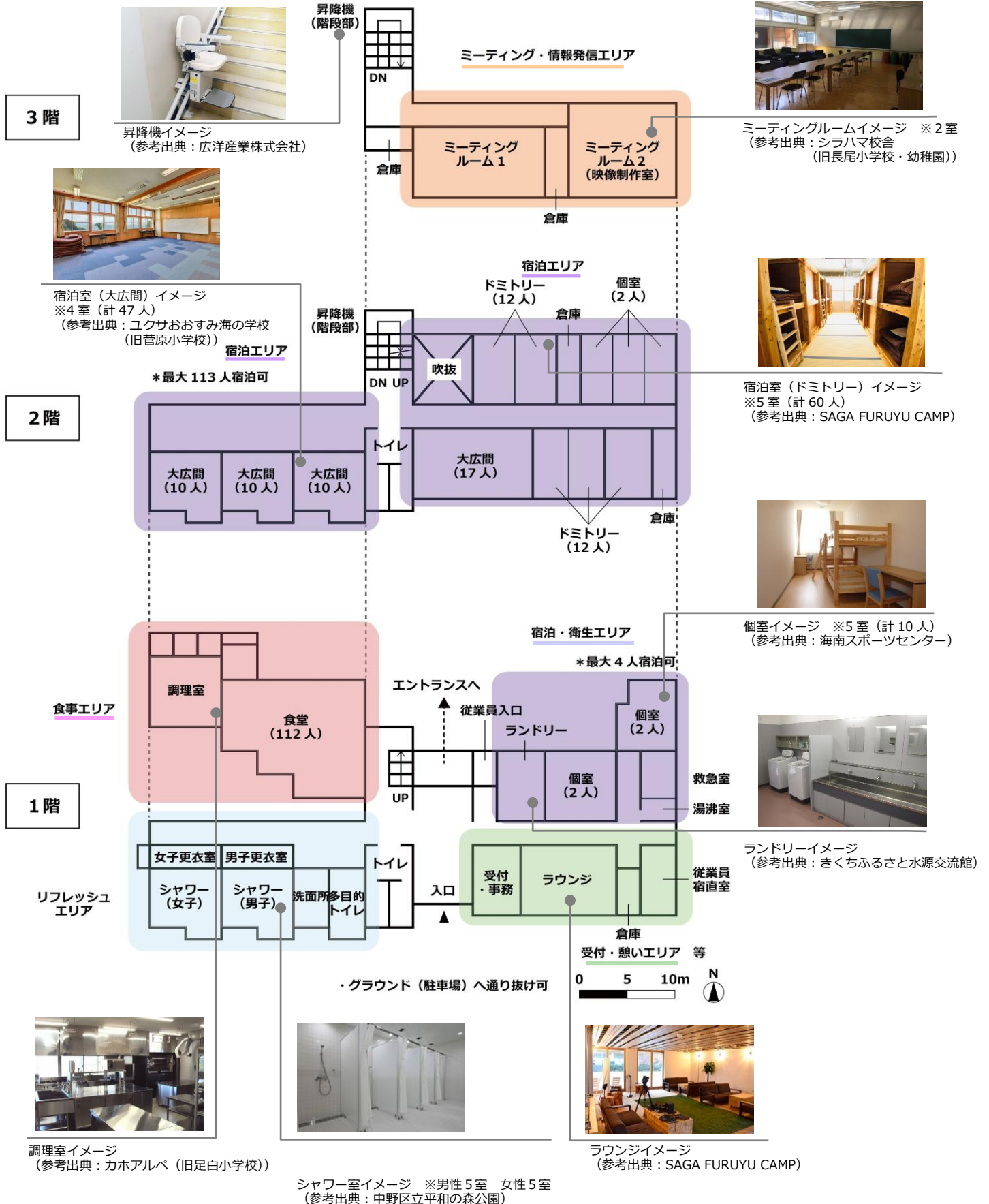


基本計画(案)における活用計画

■校舎活用計画【A案】

合宿機能を有し、体育館でスポーツも楽しむことができる拠点

A案では、主に2階を宿泊エリアとし、1階には受付やリフレッシュ、食事エリア等を配置している。宿泊機能としては、最大100名程度を想定した規模である。

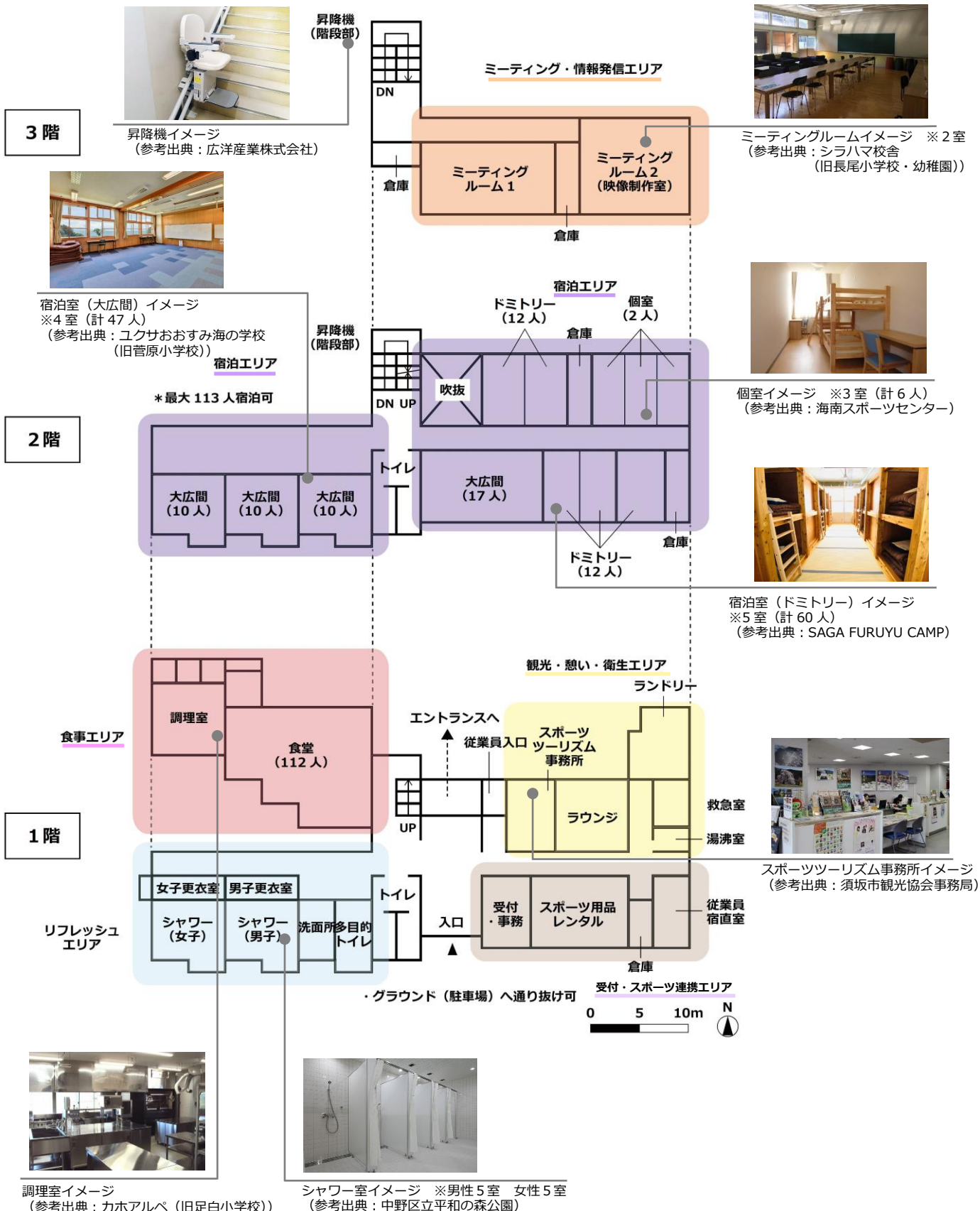


■校舎活用計画【B案】

合宿機能に加え、スポーツ機能を強化した拠点

B案では、A案と同様に主に2階を宿泊エリアとしているが、1階には観光エリアやスポーツ連携エリアを新たに設けている。

宿泊機能としては、最大100名程度を想定した規模である。

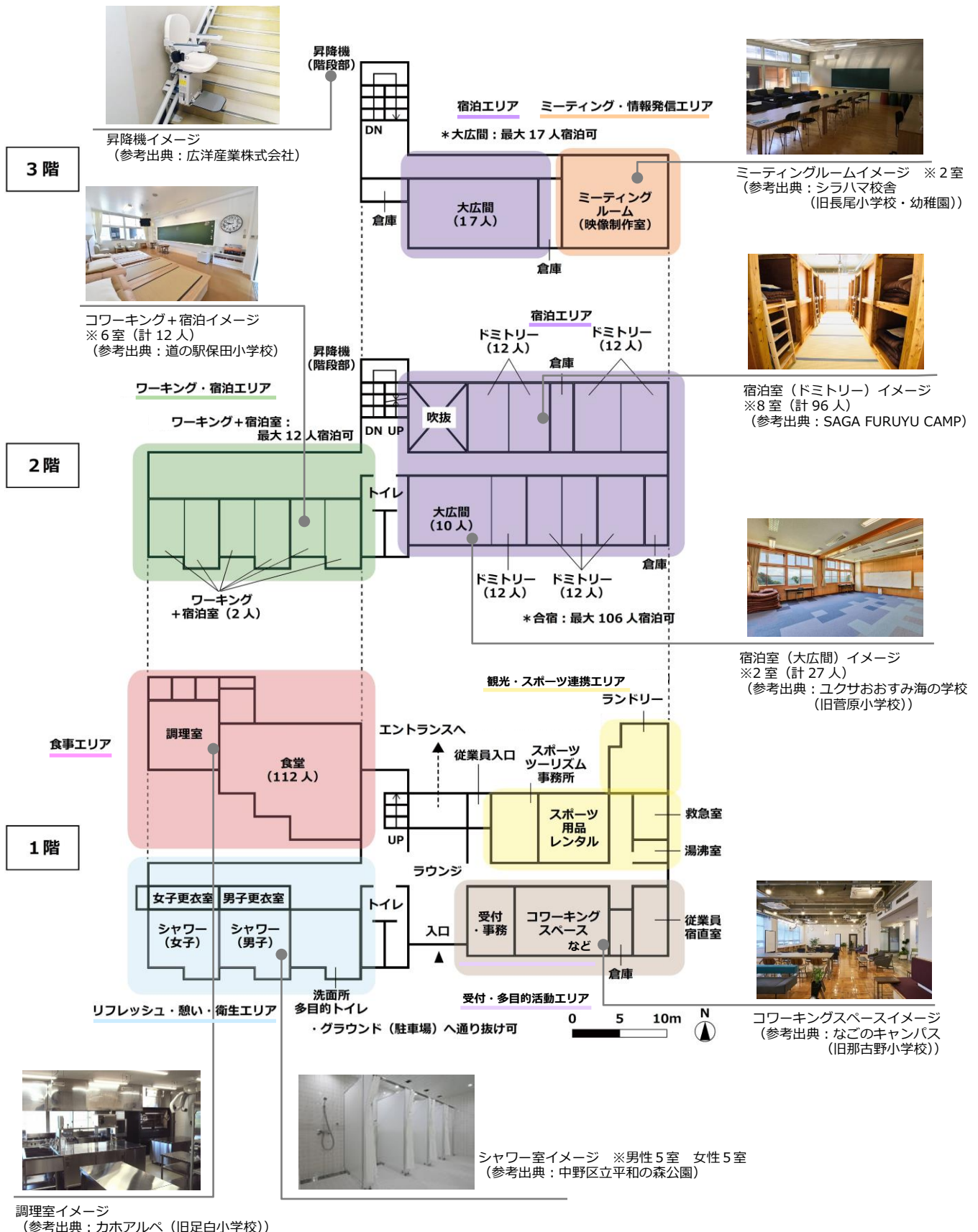


■校舎活用計画【C案】

合宿機能に加え、地域住民の活動や仕事の間としての機能も付加した拠点

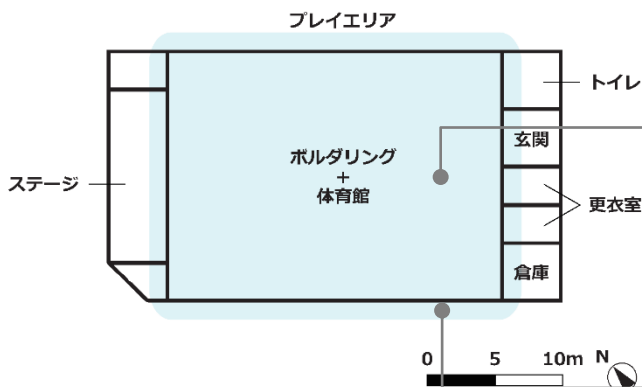
C案では、1階に多目的活動エリア、2階にはワーキング・宿泊エリアを新たに設けている。また、宿泊エリア、ミーティング・情報発信エリアは2・3階とし、階段室を境に用途を区分している。

宿泊機能としては、最大100名程度を想定した規模である。



■体育館(スポーツゾーン 1)活用計画【A案】

屋内スポーツのみではなく、ボルダリングが楽しめる施設



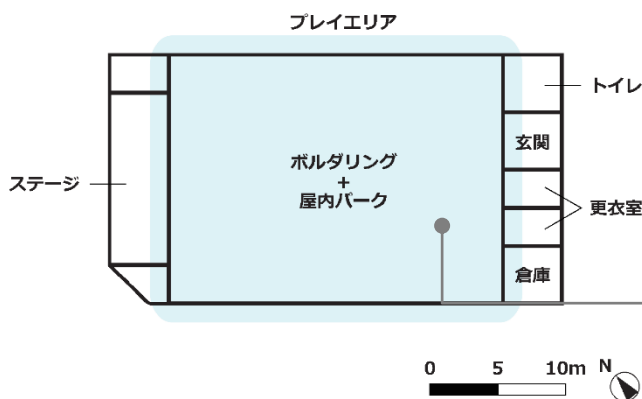
ボルダリングイメージ①：種目（ボルダリング）
（参考出典：足白ボルダリングセンター「K-WALL」
（旧足白小学校））



ボルダリングイメージ②：種目（ボルダリング+リード）
（参考出典：三宅村レクリエーションセンター
（旧坪田中学校））

■体育館(スポーツゾーン 1)活用計画【B案】

ボルダリング施設だけでなく、屋内パークとしても利用できる施設

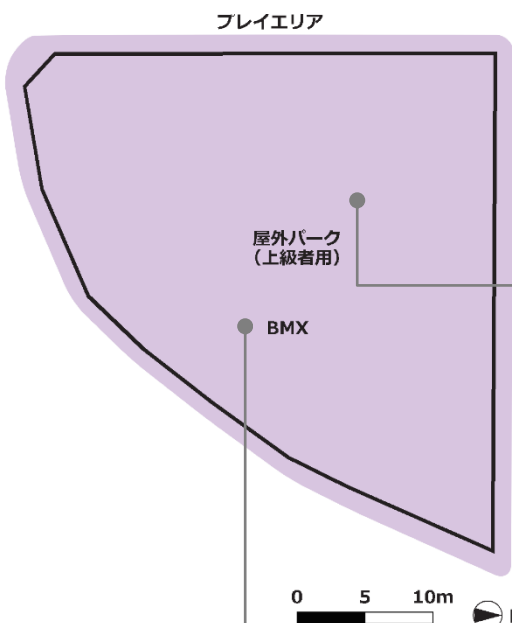


ボルダリング+屋内パークイメージ
（参考出典：KSP川崎スポーツパーク
（旧川内小学校））

■校庭(スポーツゾーン 2)活用計画

【A案】

筑後広域公園にはない上級者用の屋外パークが利用できる施設



屋外パークイメージ

【B案】

BMX が利用できる施設



屋外パークイメージ (BMX)
（参考出典：NUMAZU サイクルステーション静浦東
（旧静浦東小学校））